喜「ずっと・・・ずっと前から好きでした――!私と、つ、付き合ってください――!
・・・え?あなたも私のこと、ずっと見ていてくれたの?本当に・・・?
嬉しい・・・!やった!あのね、私初めてこんなにも誰かを好きになったの。
だからね、誰かと付き合うのって初めてで・・・。
わからないこととか多くて色々と迷惑とかかけちゃうかもしれないけど、私・・・頑張るから――!
だから、その・・・これからよろしくお願いします――!えへへっ。」

怒「はぁ――?なんであんたがここにいるのよ――!彼をここに呼んだのは私よ――!邪魔しないで――!
は・・・?今さっき告白してOK貰えたから・・・って、ふざけんじゃないわよ――!
何勝手に告白して何勝手に付き合っちゃってんの――?彼にここに来るように手紙を書いたのは私で、
彼に気持ちを伝えようとしてたのは私なの――!
まさか・・・あんた手紙の中身勝手に・・・――!
ふざけんな――!許さない許さない許さない――!私は絶対に認めない――!
私は――!絶対――!彼を諦めないから――――――覚えてなさいよ――――――!」

哀「ここに来るのはいつぶりだろう。相変わらず綺麗な景色。
懐かしいなぁ・・・。あの時の彼の横顔、ホント素敵だったな・・・。
あぁ、もう、だめね。別れて久しいのに、未だに・・・彼のこと・・・。
あはは・・・。きっとこのまま忘れられないんだろうな。こうして彼との思い出に浸って。
つらいだけなのに・・・。でも、忘れたくないんだもの・・・。うう・・・ぐすっ・・・。
やっぱりやだよ・・・――!帰ってきてよ・・・――!お願いだから・・・う――!」

楽「わぁ――!ねぇ――!こっちこっち――!早く来て――!トラだよ――!
怖い・・・けど、かわいい・・・――!あ、ねぇねぇあっちは――?
パンダだ――!笹食べてるよ――!癒されるぅ――。
こっちは――・・・ゾウだ――!おっきい――!鼻、すっごく長いね――!
うふふ――!楽しいな――♪君が隣にいてくれるから、なおさら――!
今日はほんとにありがと!動物園行きたいっていきなり言ったのにつれてきてくれて。
これからもいっぱいいっぱい、いろんなところ連れてってね――!
あ――!見てみてレッサーパンダだよ――!ほら――!いこいこ――!は――やく――――――!」

喜「えーっと・・・171、172、173・・・174。ある。俺の番号があるー！！！
てことは・・・合格だー！！！やったぁぁぁぁぁー！！！！受かった！受かったんだ！！！
この3年間必死に勉強したかいがあった・・・！俺の努力は、決して無駄じゃなかったんだ！！！
ほんとに・・・ほんとによかった・・・！！やったぞーーーー！！！！俺は受かったんだーーーーー！！！！
よーし！これからのキャンパスライフ！目一杯楽しむぞー！！！
そうと決まれば！とりあえず打ち上げだ！！焼肉だ焼肉ーーーーー！！いえーーーーい！！！！」

怒「おい、お前、こんなところでいったい何を・・・、っー！
相棒！一体何がどうなってんだ・・・！貴様・・・！俺の相棒に何をしてやがるー！！
その汚い手をどけやがれー！！！おい聞いているのか！頭にドでかい風穴開けられたくなかったら
今すぐそいつを離せー！！！！！っー！！相棒おおおおおおおおー！！
貴様ああああああああああああああー！！！よくも・・・よくも俺の相棒を・・・！！
この場から生きて帰れると思うなよー！！！！」

哀「なぁ・・・お前言ってたよな。俺と一緒にこの腐った軍を変えるって・・・。
俺の腕とお前の頭脳で、上まで上り詰めるって約束だったよな・・・？
死んじまったら何にもならねえじゃねえか・・・！俺は、俺はこれから・・・お前なしで
どうやって生きていけばいいんだよ・・・！
なぁ、返事をしてくれよー！なあ・・・！！ぐっ・・・う・・・うぁ・・・あぁぁ・・・！！」

楽「ねこちゃーーん！こっちおいでー！あーきたきた、可愛いねぇ。
ほらー猫じゃらしだぞー、ほれほれー、一緒にあそぼー。
ほーれほれほれ！あははは！ホント可愛いなぁ！ほらチュールもあるぞー！
あー肉球が！肉球が俺の手に！ぷにぷに！かわいいーーー！
猫カフェ・・・猫好きの猫好きによる猫好きのための聖地・・・！！
最っ高だぁぁぁー！！！お、もっと遊ぶかい？ほれほれー！！あははは！」